

冬の交通事故防止運動

新潟県実施要綱

令和6年度「止まって！横断歩道キャンペーン」取組重点期間

令和6年12月11日（水）～12月20日（金）

＜官公庁＞

- 新潟県
- 新潟県警察本部
- 新潟県教育委員会
- 国土交通省北陸地方整備局
- 国土交通省北陸越後運輸局
- 国土交通省北陸越後運輸局新潟運輸支局
- 厚生労働省新潟労働局
- 新潟市
- 新潟県市長会
- 新潟県町村会
- 新潟県市町村総合事務組合

＜教育関係団体＞

- 新潟県小学校長会
- 新潟県中学校長会
- 新潟県高等学校長協会
- 新潟県小中学校PTA連合会
- 新潟県高等学校PTA連合会
- 新潟県専門学校協会
- 新潟県私立中学高等学校協会
- 新潟県幼稚園・こども園連盟
- 新潟県私立幼稚園・認定こども園協会
- 新潟県保育連盟

＜交通・運輸関係団体＞

- 東日本旅客鉄道株式会社新潟支社
- 東日本高速道路株式会社新潟支社
- 公益財団法人新潟県交通安全協会
- 一般社団法人新潟県安全運転管理者協会
- 公益社団法人新潟県トラック協会
- 公益社団法人新潟県バス協会
- 一般社団法人新潟県ハイヤー・タクシー協会
- 一般社団法人新潟県自動車整備振興会
- 新潟県自動車販売協会
- 一般財団法人新潟県自動車標板協会
- 一般社団法人新潟県指定自動車教習所協会
- 一般財団法人新潟県自動車練習所
- 軽自動車検査協会新潟主管事務所
- 陸上貨物運送事業労働災害防止協会新潟県支部
- 独立行政法人自動車事故対策機構新潟主管支所
- 新潟県二輪車普及安全協会
- 自動車安全運転センター新潟県事務所
- 一般社団法人新潟県交通安全施設業協会
- 新潟県高速道路交通安全協議会
- 新潟市個人タクシー事業協同組合
- 一般社団法人日本自動車連盟新潟支部
- 新潟県自転車・軽自動車商協同組合
- 新潟県レンタカー協会
- 新潟県ハイヤー交通共済協同組合

- 新潟県自動車車体整備協同組合
- 赤帽新潟県軽自動車運送協同組合
- 新潟県オートバイ事業協同組合
- 新潟県軽自動車協会
- 日本通運株式会社新潟支店
- 新潟県中古自動車販売協会
- 一般社団法人新潟県運転代行協会

＜報道関係＞

- 株式会社新潟日報社
- 朝日新聞社新潟総局
- 毎日新聞社新潟支局
- 読売新聞社新潟支局
- 産経新聞社新潟支局
- 共同通信社新潟支局
- 時事通信社新潟支局
- 日本経済新聞社新潟支局
- NHK新潟放送局
- 株式会社新潟放送
- 株式会社NST新潟総合テレビ
- 株式会社テレビ新潟放送網
- 株式会社新潟テレビ21
- 株式会社柏崎コミュニティ放送
- 長岡移動電話システム株式会社
- 株式会社エフエムラジオ新潟
- 燕三条エフエム放送株式会社
- 株式会社けんと放送
- 株式会社エフエム新津
- エフエム角田山コミュニティ放送株式会社
- 株式会社エフエム雪国
- 株式会社エフエムしばた
- 株式会社エフエムとおかまち
- エフエム魚沼株式会社

＜青少年・福祉関係団体＞

- 社会福祉法人新潟県社会福祉協議会
- 日本ボーイスカウト新潟連盟
- 新潟県青少年健全育成県民会議
- 一般財団法人新潟県民生委員児童委員協議会

＜その他関係団体＞

- 新潟県石油業協同組合
- 日本郵便株式会社信越支社
- 一般社団法人新潟県商工会議所連合会
- 新潟県商工会連合会
- 新潟県中小企業団体中央会
- 一般社団法人新潟県銀行協会
- 全国交通運輸労働組合連合新潟県支部
- 一般社団法人新潟県農業会議
- 新潟県農業機械商業協同組合
- 新潟県農業共済組合
- 新潟県農業協同組合中央会
- 全国共済農業協同組合連合会新潟県本部
- 全国農業協同組合連合会新潟県本部
- 新潟県信用農業協同組合連合会
- 新潟県酪農業協同組合連合会
- 東北電力ネットワーク株式会社新潟支社
- 新潟県酒造組合
- 新潟県卸酒販組合
- 新潟県小売酒販組合連合会
- 新潟県森林組合連合会
- 新潟県漁業協同組合連合会
- 公益財団法人新潟県生活衛生営業指導センター
- 新潟県すし商生活衛生同業組合
- 新潟県旅館ホテル生活衛生同業組合
- 新潟県料理生活衛生同業組合
- 新潟県社交飲食業生活衛生同業組合
- 一般財団法人新潟県老人クラブ連合会
- 公益財団法人にいがた産業創造機構
- 新潟県医師会
- 公益社団法人新潟県薬剤師会
- 一般社団法人新潟県歯科医師会
- 公益社団法人新潟県看護協会
- 新潟県土地改良事業団体連合会
- 一般社団法人新潟県建設専門工事業団体連合会
- 一般社団法人新潟県空調衛生工事業協会
- 一般社団法人新潟県LPガス協会
- 一般社団法人新潟県解体工事業協会
- 一般社団法人新潟県産業資源循環協会
- 新潟県住宅供給公社
- 一般社団法人新潟県建設業協会
- 一般社団法人新潟県砂利砕石協会
- 新潟県生コンクリート工業組合
- 新潟県電気工事工業組合
- 一般社団法人日本建設業連合会北陸支部
- 一般社団法人新潟県設備設計事務所協会
- 一般社団法人新潟県電設業協会
- 一般社団法人新潟県高圧ガス保安協会
- 新潟県印刷工業組合
- 公益社団法人新潟県宅地建物取引業協会
- 新潟県信用組合協会
- 一般社団法人新潟県警備業協会
- 新潟県信用金庫協会
- 日本通信株式会社
- 新潟県生活協同組合連合会

自転車ヘルメット着用促進県民キャンペーン実施中！

警察庁が都道府県ごとの自転車ヘルメット着用率の調査結果を公表しました。調査の結果、新潟県は全国平均 17.0%を大きく下回る 8.0%、全国順位は 44 位と昨年の最下位から脱したものの、依然として着用の定着化が図られていない結果でした。

ヘルメットは万が一の事故の際に頭部を守る等自分の身を守るためとても重要なアイテムです。春に向けて自転車ヘルメットの準備をしましょう。



ヘルメットキャンペーン
特設サイトはこちら



ヘルメットの有効性動画はこちら
(新潟県警察公式チャンネル)

「ハンドルキーパー運動」

「ハンドルキーパー運動」とは、自動車仲間と飲食店などへ行く場合に、お酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が仲間を自宅まで送り届ける運動です。



1 実施期間
12月11日（水）から12月20日（金）

2 目的
この運動は、年末が近づくと、人や車の動きが慌ただしくなるとともに、冬型の気候や飲酒機会の増加等により、交通事故の多発が懸念されることから、県民一人一人に交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止を図ることを目的とします。

3 スローガン
『 冬の道 ゆとりとマナーで 安全運転 』

- 4 運動の重点
- ① 横断歩行者の交通事故防止
～渡るよサインの活用～
 - ② 飲酒運転の根絶
 - ③ 冬道の安全走行



5 運動の進め方
県、市町村及び関係機関・団体は、相互に連携を密にして、それぞれの実情に即した実施計画を策定するとともに、積極的な広報・啓発活動を行い、県民の交通安全意識の高揚が図られるよう、実効的な運動を展開しましょう。

① 横断歩行者の交通事故防止～渡るよサインの活用～

ドライバーの皆さんは早めのライト点灯で横断歩行者の保護を！

- 年末に向けて夕暮れが早まり、17時台に最も歩行者事故が多発します。前照灯は日没前から、天候に応じて早めの点灯を心掛け、自分の車の存在を周囲にアピールしましょう。また、前照灯の上向き、下向きをこまめに切り替え、いち早く歩行者を発見できるようにしましょう。
- 12月は歩行者事故が多く発生する傾向にあります。本年10月末現在の交通事故死者数45人（前年比±0人）のうち、当事者別（車、バイク、自転車、歩行者）では歩行者が20人（前年比+3人）と最も多く、昨年と比較して大きく増加しています（死者数以外は速報値）。

歩行者の皆さんは夜光反射材を身に着けましょう！

- 夜間の交通事故防止には、夜光反射材や明るい色の服装が効果的です。徒歩で外出する際は、自分の身を守るために、明るい服装や夜光反射材を身に付けて、自分の存在を周囲に知らせましょう。
- 道路を横断する時は「渡るよサイン」(※)で周囲に道路横断の意思を示すとともに、横断前の左右確認はもちろん、横断中も車が近づいて来ていないか確認しましょう。
※ 「渡るよサイン」とは、手を上げる、目で合図を送るなど歩行者がドライバーに横断意思を伝える様々な動作の総称です。



③ 冬道の安全走行

冬道の運転は時間に余裕をもって

- 冬道は焦らず慎重に運転することが大切です。冬道は路面状況によっては速度を落として運転する必要があります。天気予報を確認し「明日は大雪」「気温が下がって路面が凍結する」などの情報があれば、早めに出発できるように準備するなど、時間に余裕をもった運転をしましょう。
- 冬道走行のポイント
 - 1 出発前の準備
車に積もった雪を落とす、窓ガラスの曇りをとるなど、しっかりと視界を確保してから出発しましょう
 - 2 やさしいブレーキ操作でタイヤをスリップさせない
減速時や停止する際には、やさしいブレーキで速度を調節して、タイヤをスリップさせないようにしましょう。
 - 3 交差点の手前では、周囲の状況に気を配る
前車との車間距離を保ち、前車の動きに注意しましょう。早めのウインター、ブレーキで後続車へ注意を促しましょう。
 - 4 「急」のつく運転をしない
スリップの原因となる急アクセル、急ブレーキ、急ハンドルはやめましょう。



② 飲酒運転の根絶

飲酒運転は重大な犯罪です！

- 本年10月末現在の飲酒運転による交通事故25件（前年比-2件）発生と、昨年と比較して減少していますが、依然として飲酒運転による悲惨な交通事故が後を絶ちません。
- 県民の皆さん一人一人が「飲酒運転を絶対にしない、させない」という強い意思を持ち、飲酒運転を根絶しましょう。

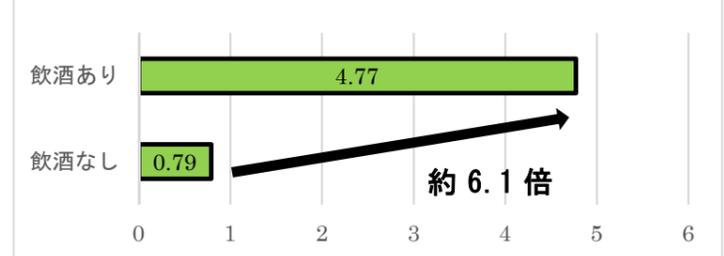
飲酒運転による交通事故発生状況

	R3	R4	R5	R6.10月末
発生件数	38	35	37	25 (前年同期比-2)
死者数	3	3	0	1 (前年同期比+1)
負傷者数	47	40	47	32 (前年同期比-3)

飲酒運転の死亡事故率 約6.1倍

- 全国の飲酒運転による交通事故の死亡事故率を見ると、飲酒運転による死亡事故率は、飲酒なしの場合と比べて約6.1倍も高く、飲酒運転が極めて危険性が高い悪質な運転行為であることが分かります。
- 二日酔いも飲酒運転になります。アルコールは体内から簡単に抜けないことを認識し、深酒をした翌日は家族からの送迎や公共交通機関を利用するなど、車の運転を控えましょう。

死亡事故率比較（令和5年）



止まって！ 取組重点期間 12/11(水)～20(金) 通年運動 横断歩道キャンペーン

「横断歩道は歩行者優先

『冬こそ』必ず止まる！

- 本年10月末現在の横断歩道横断中の歩行者事故発生状況は、昨年に比べ、死者数は変わりませんが、発生件数、負傷者数はともに減少しています。（死者数以外は速報値）。
- 令和5年12月中の横断歩道横断中の死者数は1人、負傷者数は25人でした。負傷者のうち、65歳以上の高齢者が9人と、全体の4割近くを占めました。

横断歩道横断中の事故発生状況

